

地方独立行政法人徳島県鳴門病院第 2 期中期目標の期間の終了時に見込まれる 中期目標の期間に係る業務の実績に関する評価結果についての報告（概要）

地方独立行政法人法第 28 条第 1 項第 2 号の規定に基づき、地方独立行政法人徳島県鳴門病院第 2 期中期目標の期間の終了時に見込まれる中期目標の期間に係る業務の実績について、地方独立行政法人徳島県鳴門病院評価委員会から意見を聴取の上、徳島県知事が評価を実施した。

1 全体評価

第 2 期中期目標を概ね達成すると見込まれる。

2 項目別評価

S 評価 1，A 評価 8，B 評価 15，C 評価 1，D 評価 0 （計 25 項目）

＜項目別評価一覧＞

大項目 中項目 小項目	年度評価結果					見込評価
	H29 年度	H30 年度	R1 年度	自己 評価	県 評価	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組	—	—	—	—	—	—
1 診療事業	—	—	—	—	—	—
(1) 良質かつ適切な医療の提供	B	B	B	A	A	A
(2) 患者の視点に立った医療の提供	B	B	B	B	B	B
(3) 救急医療の強化	B	B	B	A	B	B
(4) がん医療の充実	B	B	B	A	A	A
(5) 生活習慣病に対する医療の促進	B	B	B	A	A	A
(6) 産科医療や小児医療の充実	B	B	B	B	B	B
(7) 特徴を発揮した医療の推進	A	A	S	S	S	S
2 地域医療・介護支援	—	—	—	—	—	—
(1) 医療・介護連携の充実	B	B	A	A	A	A
(2) 地域住民の健康維持への貢献	A	A	A	A	A	A
3 災害時における医療救護	—	—	—	—	—	—
(1) 医療救護活動の拠点機能	B	B	B	B	B	B
(2) 他地域における医療救護への協力	B	B	B	B	B	B
4 人材の確保・養成	—	—	—	—	—	—
(1) 質の高い医師の確保・養成	B	C	A	A	A	A
(2) 医療従事者の確保・養成	B	B	B	B	B	B
(3) 看護専門学校の充実強化	A	A	A	A	A	A
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組	—	—	—	—	—	—
1 業務運営体制	—	—	—	—	—	—
(1) 効果的な業務運営の推進	B	B	B	B	B	B
(2) 事務職員の専門性の向上	B	B	B	B	B	B
(3) 人事評価システムの構築	B	B	B	B	B	B
2 業務運営方法	—	—	—	—	—	—
(1) 県立病院との連携	A	A	A	A	A	A
(2) 収入の確保	B	B	B	A	B	B
(3) 費用の抑制	C	C	C	B	B	B
第3 予算、収支計画及び資金計画	C	C	C	C	C	C
第4 短期借入金の限度額	B	B	B	B	B	B
第5 重要な財産を譲渡し、又は担保しようとするときの計画	—	—	—	—	—	—
第6 剰余金の使途	—	—	—	—	—	—
第7 料金に関する事項	—	—	—	—	—	—
第8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項	—	—	—	—	—	—
1 施設及び設備に関する事項	B	B	B	B	B	B
2 職員の就労環境の向上	—	—	—	—	—	—
(1) 良好な職場環境づくり	B	B	B	B	B	B
(2) 就労環境の整備	B	B	B	B	B	B
3 積立金の処分に関する計画	—	—	—	—	—	—

（参考）評定の区分

＜法人の自己評価＞

S	中期計画を大幅に上回って実施している。（特に優れた実績）
A	中期計画を上回って実施している。
B	概ね中期計画どおり実施している。（達成度が概ね9割以上）
C	中期計画を十分に実施できていない。（達成度が概ね6割以上9割未満）
D	中期計画を大幅に下回っている。（達成度が6割未満）

＜県の評価（評価委員会の検証）＞

S	中期目標を大幅に上回って達成すると見込まれる。
A	中期目標を達成すると見込まれる。
B	中期目標を概ね達成すると見込まれる。
C	中期目標が十分には達成できないと見込まれる。
D	中期目標が大幅に達成できない見込であり、改善が必要。

3 項目別評価の主な内容（括弧内は評価結果）

①住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組
--

<良質かつ適切な医療の提供>

○円滑な入退院の実施に向けたベットコントロール組織及び専任者の設置，最適で確実な医療の提供に向けたクリティカルパス導入拡大など，医療の質の向上を図るための取組が推進できており，中期目標を達成できると見込まれる。（A）

<救急医療の強化>

○消防機関との緊密な連携を図り，地域救急要請受入率を高い水準で維持していることなどから，中期目標を概ね達成すると見込まれる。また，令和2年4月より救急科を新設し，救急搬送患者の受入体制の拡充も図っているところであり，中期計画で掲げる数値目標の達成を通じ，東部Ⅱ救急医療圏の自己完結率の向上に寄与することを期待する。（B）

<がん医療の充実>

○高精度リニアックの再稼働，PET-CTの導入により，「地域がん診療連携推進病院」として，集学的治療の質の向上が図られたことから，中期目標を達成すると見込まれる。今後は，これら高度医療機器導入の強みを活かし，がん診療拠点の整備に向けた取組が推進されることを期待する。（A）

<生活習慣病に対する医療の促進>

○人間ドック事業，一般検診事業の積極的な受入拡大に取り組むとともに，「糖尿病・内分泌センター」を新たに開設するなど，地域住民に対する生活習慣病の発症予防に関する取組が推進されていることから，中期目標を達成すると見込まれる。今後は，健康管理センターの機能強化に向けた新たな取り組みを期待する。（A）

<特徴を発揮した医療の推進>

○「手の外科センター」で年間600件を超える手術件数を行っていることに加え，「脊椎脊髄センター」においては手術件数が大幅に増加し，令和元年度には四国一となる498件の実績を挙げるなど，鳴門病院の特徴を発揮した医療の推進が一層図られており，中期目標を大幅に上回って達成すると見込まれる。（S）

<地域住民の健康維持への貢献>

○PET-CTを活用した新たな検診コースの創設や，毎月の糖尿病教室をはじめ，健康相談，栄養相談などの様々な研修，相談会を継続して実施し，地域住民の生活習慣病の早期発見，早期治療に積極的に取り組んでいることから，中期目標を達成すると見込まれる。（A）

<質の高い医師の確保・養成>

○令和2年度には救急専門医を含む医師3名を採用するとともに，研修プログラムの見直し等により，初期臨床研修医3名の獲得を実現するなど，医師の確保に実績を挙げており，中期目標を達成できると見込まれる。（A）

②業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

<事務職員の専門性の向上>

○事務職員の専門研修への参加の促進により専門性を高めるとともに、DPCデータの分析結果等を管理者会議や医局会等で共有し、収益向上に活用するなどの取組を実施しており、中期目標を概ね達成すると見込まれる。(B)

<人事評価システムの構築>

○自己申告書の提出や人事ヒアリングの実施により、人材育成に資する取組が推進されており、中期目標を概ね達成すると認められる。今後は、当該ヒアリング結果の活用方法等について検討を進めるなど、新たな評価システムの構築に向けた取組の推進を期待する。(B)

<収入の確保>

○令和元年度は入院及び外来患者数がともに減少したものの、診療収益が法人化以降最高となったことから、中期目標は概ね達成すると見込まれるが、中期計画で掲げる数値目標の達成に向けては、新規入院患者数や稼動病床利用率の向上を図るための取組が必要である。(B)

<費用の抑制>

○県立病院との共同交渉やコンサルタントへの価格交渉の委託などの取組により、一定の成果は上げているところではあるが、更なる費用の抑制に努めることはもとより、各費用、経費について、改めて増加している原因及びその費用対効果の検討を十分に行う必要がある。(B)

③予算、収支計画及び資金計画

○令和元年度においては、経常収支比率、医業収支比率ともに中期計画の数値目標を大きく下回り、5年連続の赤字となるとともに、法人化後、最大の赤字額を計上した。病院においては、新たな収益確保策の実施や材料費の更なる抑制、経費等の徹底的な見直しに努めているところではあるが、新型コロナウイルスによる受診抑制等の影響もあり、中期目標が十分に達成できないと見込まれる。引き続き、業務運営の継続性や効率性について不断の見直しを行い、医療サービスの向上を支える病院の経営基盤の強化に向けた早急な取組の実施が求められる。(C)

④その他業務運営に関する取組

<施設及び設備に関する事項>

○PET-CTや内視鏡システム等の設備の計画的な整備が図られており、中期計画を概ね達成すると見込まれる。今後は、当該設備を有効に活用し、質の高い医療の提供に努めるとともに、新たな収益確保策の実施を期待する。(B)